

令和5年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

県央会場

科目 ④子どもの発達理解

- ◆ 子どもは遊びの中で相手と自分の考え方の違いに気付き、相手を見て自分の取るべき態度を自覚し、臨機応変に対応することを知ります。そして、自分の考えが認められたり、受け止められたりすることの心地よさを感じ、友達に対してもそのように関わろうとします。そして、友達との共感が深まるほど、自分のことを見つめる子どもになっていきます。発達には個人差があり、それを踏まえて一人一人の心身の状態を把握しながら育成支援を行うことが大切であると学びました。
- ◆ 子どもの発達の基礎を理解できました。成長過程における遊びの大切さ、愛着の築きが大事な乳幼児期を経て、学校生活が中心になる児童期の一部に携わる放課後児童クラブの大事さを改めて感じました。一人一人の心身の状態を把握し、発達の個人差を踏まえながら、その子に寄り添い、育成支援を行っていきたいと思います。最後の子どもたちのメッセージ、とてもほっこりすることができました。
- ◆ 今回の研修を受けて、私は子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、子どもたちの成長に適切に寄り添うための知識を得ることができました。私たち指導員は子どもたちの個別の成長ペースを尊重し、適切な活動やアプローチを考え、彼らが自信をもってポテンシャルを最大限に発揮できるようにサポートすることが大事だと感じました。子どもたちの発達理解が、輝く未来への土台づくりになることを改めて認識しました。
- ◆ 子どもの発達過程は個人差が大きいです。乳児期より豊かな人間性や社会性の基盤を育むために、温かい言葉かけや十分なスキンシップによって、信頼できる心を育て、十分に愛着が生まれると周囲への好奇心が芽生え始め、他者への思いやりを持つ時期へ進んでいきます。放課後児童クラブに通う頃には多様な人格に触れ合い、集団で過ごすことで規律と個性が培われていく時期になるので、発達を見逃さず、支援員は日々の気付きや振り返りを共有し、子どもを支え合うことが重要であると思いました。
- ◆ 子どもの発達の進度や進み方には個人差があり、一人一人の心身の状態を把握しながら育成支援を行うことの大切さを理解しました。そのためにも保護者や学校等各機関との連携が大事なので職員間でしっかり共有を図りたいと思います。子どもにとって成長するために、遊びはとても重要で、遊びを通して様々なことを学び、運動能力や社会性、創造性を発達させていくことができるので、子どもの発達段階に応じて、柔軟に対応できるようにしていきたいです。